月例英国経済概況(2004年3月)

|現状:消費が堅調な推移を続け、製造業の景況も回復へ。

10-12月期の実質GDPの伸び率は、前期比0.9%(同年率3.8%)(図)。2000年1-3月期以来の 高い伸び。産業別にみても、製造業が3四半期連続プラスの伸び(前期比)。

民間消費が好調を維持するとともに、投資も拡大基調へ(__)。

貿易赤字は、再拡大の兆候()。ユーロ圏経済の不調、ポンド高の影響が顕現。 企業のマインドは改善基調。ただし、生産は一進一退()。

消費は好調を持続()。良好な雇用・所得環境()や住宅市場()が背景に。

ただし、個人向け貸し出しの増勢は鈍化()。 今後:世界経済回復に伴う輸出増加などから、景気拡大が継続の公算。 世界経済回復に伴う輸出増加が、企業部門の回復傾向を後押し。景気は緩やかな拡大を持続 との見方がコンセンサス()。ただし、2005年は成長率がやや低下するとの予想に。

ポンド高や大陸欧州の景気低調により、当面の輸出増加ペースは限定的。

物価が低位安定している一方、消費が過熱気味に推移。 ポンドの動向と景気への影響にも要注意。			
成長率 10-12月期は約4年ぶりの 高成長(前期比)。	成長率(内訳) 消費堅調、外需不振。	純輸出(輸出-輸入) 貿易赤字が再拡大傾向。 EU向け輸出が減少。	鉱工業生産 2ヶ月連続で前月比減少。 生産はいぜん一進一退。
前年比:03/10-12 +2.8% 前期比:03/10-12 +0.9% 00 01 02 03	(前期比寄与度: % ホ 1/ント) 03/7-9 03/10-12 GDP +0.8% +0.9% 民間消費 +0.8% +0.8% 政府消費 +0.0% +0.4% 投 資 +0.2% +0.3% 在庫投資 +0.3% 0.3% 純 輸 出 0.3% 0.2%	(百万 £) Balance(実績) 900 12月 3267百万 £ 2900 3900 00 01 02 03	2 前年比:03/12 6 0.8% 01 02 03
消費(小売数量) 12~1月は、家庭用品などを 中心に好調。	失業率(ILOベース) いぜん歴史的低水準で推移。 若年層の失業率が低下。	賃金上昇率 堅調に推移。 製造業の上昇率が高まる。	住宅価格上昇率 2月に半年ぶりの水準まで 伸びが高まる(ネーションワイド)。
8 [(%) , 前年比:1月+6.3% 6 前月比:1月+0.5% 2 前月比:1月+0.5% 2 0 0 0 0 0 0 0	6.0 (%) 5.5 5.0 4.5 4.9% 4.0 00 01 02 03	6 5 4 3 2 前年比:10-12月 1 0 00 01 02 03	45 (%)前年比2月 40 ~ ネーションワイト 指数(・・・) 17.1% 35
インフレ率(CPI) CPIの伸びは前月から上昇。	政策金利(レポ・レート) 04年2月5日に利上げ実施。	個人向け貸出 1月に消費者ローンの増勢が 再び高まる。	成長率予測(2004-2005年) 2004年成長率の上方修正により、 2005年下方修正の動きも。
2.5 2.0 1.5 1.0 0.5 0.0 0.1 02 03 04	6.0 - (%) 5.0 - 3月1日現在 4.0 - 4.00% 3.0 00 01 02 03 04	15 14 13 12 11 10 9 * 英中銀調べ 6 00 01 02 03 04	2004年(2005年) 民間平均 2.8%(2.6%) 2/04集計 OECD 2.7%(2.9%) 11/03公表 IMF 2.4% 9/03公表 欧州委 2.8%(2.9%) 10/03公表 政府 3.0-3.5% 12/03公表 (3.0-3.5%)
ユーロ/ポンド相場 ボント上昇基調が続く。 約1年ぶりのボント高水準。	ドル/ポンド相場 2月は一進一退で推移。 92年以来のボンド高水準。	円/ポンド相場 ポンドが上昇、200円台に。 200円台は98年以来。	株価(FTSE100) 景気好調を映じて堅調に推移。 2002年以来の高値圏で推移。
2.0 1.9 1.8 1.7 1.6 1.5 1.4 1.3 00 01 02 03 04	2.0 1.9 1.8 1.7 1.6 1.5 1.4 00 01 02 03 04	210 200 190 180 170 160 150 140 00 01 02 03 04	1/3/2004 Last 4,537